



芭蕉翁生跡
幻住
庵記

2159



色牛家志記
幻住菴記



栗津義仲寺藏
珍藏



利
2/59
-1



門利5
籍 2/159
卷



幻住庵記

藤野深氏遺愛記

シヤキナレハシヨク
後ヨリハシヨク
そのヨリハシヨク
了ヨリハシヨク
細ヨリハシヨク
微ヨリハシヨク
百ヨリハシヨク
乃ヨリハシヨク

明治四十一年四月十四日
藤野深氏遺愛記

さう縁にあり唯一の家
よきとてなるはこゝにいしるは
なむかぶきをめぐりけり
美言はらうは甲いなるも
まことしきまゝに 日ひおそ
くははらうにまはせとい
かゝるはまゝのむらに縁に
信はらうまゝのまゝなり 幸
根を斬るをいふはむら
靡るゝ 孤程ゆゑに
ほろわ幻住庵とあるは
の信はらうを鼻力士甚は

糸曲あり子かゆは又いあん
はらうにまゝなりはらうに
むらにまゝなりはらうに
幻住老人はみまはらうに
まゝなりはらうにまゝなり
こゝにまゝなりはらうに
はらうにまゝなりはらうに
まゝなりはらうにまゝなり
まゝなりはらうにまゝなり
まゝなりはらうにまゝなり
まゝなりはらうにまゝなり
まゝなりはらうにまゝなり

水海共其心候よむらふに
 砂りここや〜湖の
 風よ〜しほろ〜い葉
 ねみ〜ゆ〜やほ〜い声
 の〜に〜陰さ〜の〜も〜けり
 新雪落あ〜こ〜ち〜垣〜祓
 ゆ〜め〜く〜ろ〜く〜し〜と〜て〜お〜丹
 共ゆ〜い〜の〜う〜あ〜し〜文
 ら〜あ〜や〜い〜い〜い〜い〜い
 おも〜ら〜ふ〜女〜を〜よ〜く〜つ〜た
 こ〜ろ〜共〜ら〜あ〜も〜も〜も〜い〜す
 し〜い〜〜の〜〜の〜〜の〜〜の〜〜の〜

う〜ろ〜く〜ほ〜ろ〜く〜は〜ろ〜く
 〱〜〱〜〱〜〱〜〱〜〱〜〱〜〱
 共ほ〜ろ〜く〜人〜あ〜ら〜は〜本〜は〜り
 乃〜つ〜ろ〜く〜い〜い〜い〜い〜い
 そ〜ろ〜く〜い〜い〜い〜い〜い〜い
 ち〜あ〜ゆ〜い〜い〜い〜い〜い〜い
 同〜居〜ろ〜く〜い〜い〜い〜い〜い
 み〜い〜い〜い〜い〜い〜い〜い
 乃〜ろ〜く〜い〜い〜い〜い〜い
 ね〜ろ〜く〜い〜い〜い〜い〜い
 海〜ろ〜く〜い〜い〜い〜い〜い
 こ〜ろ〜く〜い〜い〜い〜い〜い

昨 昨 昨 昨 昨 昨
展 展 展 展 展 展
中 中 中 中 中 中
中 中 中 中 中 中
谷 谷 谷 谷 谷 谷
烟 烟 烟 烟 烟 烟
一 一 一 一 一 一
中 中 中 中 中 中
中 中 中 中 中 中
中 中 中 中 中 中
中 中 中 中 中 中
中 中 中 中 中 中
中 中 中 中 中 中
中 中 中 中 中 中

い っ っ っ っ っ
つ っ っ っ っ っ
加 加 加 加 加 加
散 散 散 散 散 散
よ の の の の の の
を を を を を を
い い い い い い
何 何 何 何 何 何
中 中 中 中 中 中
中 中 中 中 中 中
中 中 中 中 中 中
中 中 中 中 中 中
中 中 中 中 中 中
中 中 中 中 中 中

此の書は計杖の上
に又掛くかきかき
さかぬさかぬさかぬ
あつたつたつたつた
おのつたつたつたつた
おつたつたつたつた
さかぬさかぬさかぬ
あつたつたつたつた
おのつたつたつたつた
おつたつたつたつた
さかぬさかぬさかぬ
あつたつたつたつた
おのつたつたつたつた
おつたつたつたつた
さかぬさかぬさかぬ
あつたつたつたつた
おのつたつたつたつた
おつたつたつたつた

さかぬさかぬさかぬ
あつたつたつたつた
おのつたつたつたつた
おつたつたつたつた
さかぬさかぬさかぬ
あつたつたつたつた
おのつたつたつたつた
おつたつたつたつた
さかぬさかぬさかぬ
あつたつたつたつた
おのつたつたつたつた
おつたつたつたつた
さかぬさかぬさかぬ
あつたつたつたつた
おのつたつたつたつた
おつたつたつたつた

とまじり情をさし
暫くは渡りぬえうら
まふかたをばよふ
ふりかたをばよふ
よつかたをばよふ
五腕の神をばよふ
度々かたをばよふ
此の心は
いつれかたをばよふ
かたをばよふ

えぬれす

推のよも

さし

え福と仲秋日

芝草志の自書





